

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●中京大学

公募人員 情報理工学部 准教授 1名

平成 25 年 4 月「工学部（仮称）」開設予定（構想中）

専門分野 電気機器工学・電気エネルギー工学に関連した電気・電子工学分野

応募締切 平成 24 年 4 月 26 日（木）必着

問合先 情報理工学部 上林真司

TEL [0565] 46-1211, uebayasi@sist.chukyo-u.ac.jp

詳細 <http://www.chukyo-u.ac.jp/recruit-faculty/index.html>

●大妻女子大学

公募人員 社会情報学部情報デザイン専攻 教授、准教授のいずれか 1名

専門分野 情報処理

応募資格 博士の学位を有するか、または同等以上の方

応募締切 平成 24 年 5 月 11 日（金）必着

問合先 〒206-8540 多摩市唐木田 2-7-1

大妻女子大学社会情報学部情報デザイン専攻主任

本郷 健

id1-saiyou25@ml.otsuma.ac.jp

詳細 <http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/recruit.html>

●富山大学

公募人員 助教 1名（任期 5 年：審査を経て再任可）

専門分野 電子物性工学

応募締切 平成 24 年 5 月 25 日（金）必着

問合先 大学院理工学研究部教授 中島一樹

（工学部電気電子システム工学科担当）

TEL [076] 445-6720, kazukin@eng.u-toyama.ac.jp

詳細情報 <http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 准教授または講師 1名

専門分野 情報通信分野

担当科目 符号理論、情報セキュリティ、情報ネットワーク等

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合先 工学部知能情報工学科 唐 政

TEL [076] 445-6752

ztang@eng.u-toyama.ac.jp

詳細 電子情報通信学会あるいは本学ホームページ参照

●群馬大学

公募人員 大学院電気電子工学専攻情報通信システム

助教 1名

専門分野 波動応用工学、医用工学、画像工学などの分野

応募資格 博士の学位を有し（または平成 25 年 3 月末までに取得見込み）、教育及び研究に対する熱意のある方

着任時期 平成 24 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合先 大学院工学研究科電気電子工学専攻長 山越芳樹

TEL [0277] 30-1771, yamakosi@el.gunma-u.ac.jp

詳細 <http://www.el.gunma-u.ac.jp/Koubo/index.html>

●徳島大学

公募人員 工学部電気電子工学科 助教 1名（任期あり）

専門分野 光信号処理技術（光増幅、光多重分離、光非線形現象応用など）、及びその光通信システム（光伝送システム、光ネットワークなど）への応用を専門とする方

応募資格 博士の学位を有するか、取得見込みの方

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日、または決定後なるべく早い時期

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着

問合先 電気電子工学科長 島本 隆

TEL [088] 656-7483, simamoto@ee.tokushima-u.ac.jp

詳細 <http://www.tokushima-u.ac.jp/about/adoption/>

●長岡技術科学大学

公募人員 教授 1名（常勤 任期なし）

所 属 電気系情報・通信システム工学講座

専門分野 デジタル信号処理、画像情報処理、とその応用

応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得可能な方で上記分野の教育・研究に情熱を有する方

提出書類 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/> 教員公募欄参照

着任時期 平成 24 年 9 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）必着「簡易書留」

問合先 電気系長 大石 潔, TEL [0258] 47-9525

ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp

●室蘭工業大学

公募人員 しくみ情報系領域情報電子工学系学科電気電子工学コース 助教 1名（任期 5 年、1 回に限り審査により再任可）

専門分野 分子ナノエレクトロニクスまたはバイオエレクトロニクス分野に関する電子材料設計からデバイス開発までの実験を主体とする研究

応募締切 平成 24 年 5 月 31 日（木）当日必着

問合先 大学院工学研究科もの創造系領域

（情報電子工学系学科）教授 鏡 慎

TEL [0143] 46-5524, kagami@mmm.muroran-it.ac.jp

●高知工科大学

募集人員 情報学群 教授、准教授または講師計 2名

専門分野 ①ソフトウェア工学、情報メディア論

②分散処理、OS、データベース

応募資格 博士の学位を有し、博士後期課程を担当できる方

着任時期 平成 24 年 10 月 1 日以降の適当な時期

応募期限 平成 24 年 6 月 30 日（土）必着

問合先 情報学群長 坂本明雄, TEL [0887] 53-1020

sakamoto.akio@kochi-tech.ac.jp

詳細 http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/saiyoujouho/info20120220.html

●松江工業高等専門学校

公募人員 電気工学科 助教または講師 1名
専門分野 電気・通信・情報工学一般
担当科目 電気基礎科目及び自身の専門分野に近い科目
応募資格 博士の学位を有する方（学位取得見込みの方を含む）
着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
応募締切 平成 24 年 7 月 12 日（木）必着
問 合 先 電気工学科教授 築谷隆雄
TEL [0852] 36-5204, FAX [0852] 36-5204
tsukutani@matsue-ct.jp
詳 細 本学のホームページを参照

●…………… お 知 ら せ ……………●

——電子情報通信学会創立記念日と事務について——

本会は大正 6 年 5 月に創立され、来る 5 月 1 日で第 95 回目の創立記念日を迎えます。よって当日は事務を休業致しますので御承知置き下さい。また、この頃は休日が多くなりますため、事務の取扱いにおいて御迷惑をおかけする場合がありますが、御了承下さい。

——平成 24 年度会費お払込みのお願い——

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 11 月末にお願いしましたが、1 月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、1 月末に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 24 年 4 月末にお送りする予定です。

——転勤・引越し及び学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail、FAX、郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早

●豊田中央研究所

公募人員 ①正社員（研究職）1名
②、③客員研究員各 1名
専門分野 ①モータの設計及び設計技術の研究
②ナノ構造電子デバイスの設計及び応用に関する研究
③硫化物系薄膜太陽電池の研究開発
着任時期 応相談
応募締切 順次選考、採用が決定次第終了
問 合 先 人事室 採用担当、TEL [0561] 63-6509
saiyo@mosk.tytlabs.co.jp
詳 細 <http://www.tytlabs.co.jp/>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 6 月号掲載分 平成 24 年 4 月 18 日（水）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので、併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

現代電子情報通信選書《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

人は、どのように感じて知覚へと昇華させ認知するのか

『感覚・知覚・認知の基礎』

【監修】乾 敏郎（京都大学）○定価 3990 円（本体 3800 円＋税）／A5 判・282 頁

本書は、感覚・知覚から認知、さらに関連する記憶も含めて体系的に概説したものです。基礎から最新の知見まで歴史を追いながら解説したもので、専門家でなくても読み進められます。

◎このような方におすすめ

- 人の知覚や認知に興味を持ち、この分野の専門家を目指す学生
- ヒューマンインタフェースやコミュニケーション、通信など周辺の技術者・研究者

◆目次◆

明るさと色の感覚／聴覚と音声／触覚と体性感覚／味嗅覚／視覚系の空間周波数特性／運動視／立体視／知覚と記憶における特徴の統合／3D 物体の認知／形とイメージ／絵画の知覚・認知／空間のイメージ／身体イメージ／文字と単語の認知／記憶の分類／記憶の符号化と検索



電子情報通信学会 編 発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

めに御連絡下さいますようお願い致します。

また、4月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Webサイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——英文論文誌Bレターカテゴリ廃止について——

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

現在、英文論文誌BにはPaper, Letterの二つのカテゴリがありますが、2012年5月31日を最後にLetterの投稿受付を停止し、英文論文誌BはPaper（フルペーパー）のみの構成とすることになりましたので、お知らせ致します。ただし、英文論文誌Bに掲載された論文に対する紙上討論としてのLetterは引き続き投稿を受け付けます。

Letterカテゴリが対象としていた速報を目的とした短編の論文については、より速報性に優れたオンラインレター誌ComEX (<http://www.comex.ieice.org/>) (2012年3月1日投稿受付開始, 2012年6月1日創刊) に御投稿頂きますようお願い致します。

——卓越研究データベース（日本）の 名称変更と公開のお知らせ——

本会と関連学会、独立行政法人日本学術振興会で作成作業をしておりました「電気のデジタル博物館」は、このたび、機械分野やバイオ分野などを加えて拡張・リニューアルし、データベースの名称を「発見と発明のデジタル博物館」に変更して公開しましたので是非御覧下さい。

発見と発明のデジタル博物館のURL: <http://dbnst.nii.ac.jp>

——第20回衛星設計コンテスト——

本コンテストは、全国の大学院、大学、高等専門学校、専門学校の学生及び高等学校の生徒を対象としており、宇宙に関わる基礎・応用研究を積極化する機会を提供し、併せて我が国の宇宙開発の裾野の拡大に寄与しようとするものです。学生の自由な発想による小型衛星をはじめとする様々な宇宙ミッションのコンセプト、アイデア、設計構想等を全国から募集し、審査の上優秀な作品を寄せたグループ〔または個人〕を表彰します。

本コンテストは、衛星開発の専門家による教育の場でもあります。この観点から、学生の衛星設計への挑戦的な応募に対しては適切な指導を行い、再挑戦も期待します。

募集区分 「設計の部」、「アイデアの部」及び「ジュニアの部」
設計条件、提出資料、応募資格等応募方法の詳細については、衛星設計コンテストHP (<http://www.jsforum.or.jp/event/contest/index.html>) で御確認下さい。

最終審査（発表審査）平成24年11月10日（土）、会場調整中
参加登録料 3,000円

問合せ先 日本宇宙フォーラム 衛星設計コンテスト事務局
TEL [03] 6206-4902, FAX [03] 5296-7010
satcon20@jsforum.or.jp

主催 電子情報通信学会、日本機械学会、日本航空宇宙学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本天文学会、宇宙航空研究開発機構、宇宙科学振興会、日本宇宙フォーラム
後援 文部科学省、総務省

日本学術振興会特別研究員 ——平成25年度採用分募集——

趣旨 日本学術振興会は、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する。

また、世界の最高水準の研究能力を有する若手研究者を養成・確保する観点から、審査により、特に優れた大学院博士課程修了者を特別研究員-SPDとして採用し、研究奨励金を支給する。

対象分野 人文・社会科学及び自然科学の全分野

採用予定数 約1,600名

申請資格 申請資格は、採用区分による。

研究奨励金 平成24年度の支給予定額は以下のとおり。なお、研究奨励金の額については変更することがある。

月額200,000円～446,000円

研究費 特別研究員には、科学研究費補助金の応募資格が与えられ、科学研究費委員会の審査を経て毎年度150万円以内（特別研究員-SPDは、300万円以内）の研究費が交付される。

申請手続 特別研究員の申請は電子申請システムを通じて受け付ける。その際、電子申請手続と併せて必要書類が提出された場合のみ、有効な申請となる。詳細は、HP内「電子申請のご案内」(<http://www.shinsei.jsps.go.jp/>) から「研究者養成事業」を参照すること。

申請受付期間 平成24年6月4日（月）～6日（水）（必着）

問合せ先 日本学術振興会 研究者養成課 特別研究員募集担当
TEL [03] 3263-5070

募集要項、申請書、申請書作成要領等は、「特別研究員」のHP (<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>) の「申請手続」の「募集要項（PD・DC2・DC1）」よりダウンロードすること。なお、申請書のうち10.(3)①(ア)の「申請書情報」は、必ず電子申請システムを利用して作成すること。

日本学術振興会特別研究員-RPD ——出産・育児による研究中断者への 復帰支援フェローシップ—— ——平成25年度採用分募集——

趣旨 日本学術振興会は、特別研究員制度の一環として、学術研究分野における男女共同参画を推進する観点も踏まえ、優れた若手研究者が出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰する環境を整備するため、研究奨励金を一定期間支給し、研究活動再開を支援する特別研究員-RPDを平成18年度に創設した。

対象分野 人文・社会科学及び自然科学の全分野

採用予定数 約40名

申請資格 次の(1)～(3)全てを満たす者。

——ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・
プライバシー保護技術小特集号

(和文論文誌 A) 論文募集——

ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・
プライバシー保護技術と和文論文誌小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集号(平成 25 年 4 月号)として、「ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術」を企画しました。サービスの多様化やリアルタイム化などに伴い、多種で大量のデータを扱う場面が増えていきます。また、ネットワークストレージやクラウドコンピューティングといった外部リソースの活用が進められるなど、新たなサービスも創出されています。本小特集企画では、ビッグデータ時代におけるセキュリティ及びプライバシー保護に関する理論から実際的な応用までの研究成果を集積し、最近の進歩や共通の技術課題を抽出するとともに、今後の技術開発の方向性を展望したいと思えます。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護に関する理論から実際的な応用まで様々な研究を広く募集します。例えば、大量データを扱う際あるいは外部リソースを活用する際の認証、鍵管理、データ保護、保護データの活用技術、暗号プロトコル、匿名化技術といった基盤技術や、それら基盤技術を応用したシステムやサービス、及び技術的観点あるいは法制度から見たシステム管理運用技術などを対象としますが、その他の論文も広く募集します。

2. 編集方針

同分野は発展途上で多くの可能性を有しているため、研究の新規性並びに成果の信頼性に比べて、研究の有用性についての一般性や十分性を厳しく求めないものとします。

3. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

手順 1: 電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist_j.aspx を使って投稿して下さい。ソサイエティ/特集号では [特集号 JA] ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集号を選択して下さい。[一般 JA] 基礎・境界は選択しないで下さい。

手順 2: 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

- (1) 博士の学位を取得している者。または平成 25 年 4 月 1 日までに博士の学位を取得する見込みの者。ただし、我が国の人文または社会科学の分野の大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、平成 25 年 3 月 31 日までに所定の単位を修得の上退学した者(見込みの者を含む。)で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者も含む。
- (2) 平成 24 年 4 月 1 日からさかのぼって過去 5 年以内に、出産または子の養育のため、おおむね 3 か月以上やむを得ず研究活動を中断した者。
- (3) 日本国籍を持つ者、または我が国に永住を許可されている外国人。

研究奨励金: 平成 24 年度の支給予定額は以下のとおり。なお、研究奨励金の額については変更することがある。

月額 362,000 円 (ただし、博士の学位を取得していない者は、月額 200,000 円)

研究費: 科学研究費補助金の応募資格が与えられ、科学研究費委員会の審査を経て毎年度 150 万円以内の研究費が交付される。

申請受付期間: 平成 24 年 5 月 9 日 (水)~11 日 (金) (必着)

問合せ: 日本学術振興会 研究者養成課 特別研究員-RPD 募集担当 TEL [03] 3263-5070

募集要項、申請書、申請書作成要領等は、「特別研究員」の HP (<http://www.jps.go.jp/j-pd/index.html>) の「申請手続き」の「募集要項 (RPD)」よりダウンロードすること。なお、申請書のうち 10. (3)①(ア)の「申請書情報」は、必ず電子申請システムを利用して作成すること。

——平成 24 年 4 月号及び 5 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

4 月号 [英文] Reliable Robust Radio Control Technology

5 月号 [和文] 暗号と情報セキュリティ実装技術

(通信ソサイエティ)

4 月号 [和文] 人・社会を支えるネットワークソフトウェア技術とその応用

4 月号 [英文] Cognitive Radio and Heterogeneous Wireless Networks in Conjunction with Main Topics of CrownCom2011

5 月号 [英文] Frontiers of Information Network Science

(エレクトロニクスソサイエティ)

4 月号 [英文] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit, Device and Design Methodology

5 月号 [英文] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices

(情報・システムソサイエティ)

4 月号 [和文] ライフログ処理技術とその活用システム

4 月号 [英文] Knowledge-Based Software Engineering

5 月号 [和文] インターネット技術とその応用

5 月号 [英文] *Recent Advances in Multimedia Signal Processing Techniques and Applications—Special Section on APSIPA ASC 2010—

*Formal Approach

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

5. 論文投稿締切日 平成24年7月6日(金) 必着

投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

6. 採否判定通知

著者には平成24年12月上旬までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

7. 問合せ先

中西 透 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻情報通信システム学講座

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

TEL [086] 251-8249, FAX [086] 251-8255

E-mail: nakanisi@cne.okayama-u.ac.jp

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

8. 小特集編集委員会

委員長 菊池浩明(東海大)

編集幹事 中西 透(岡山大)

編集委員 伊藤孝一(富士通研), 小松文子(IPA), 駒野雄一(東芝), 佐久間 淳(筑波大), 新保史生(慶大), 高木浩光(産総研), 千田浩司(NTT), 中川裕志(東大), 松尾真一郎(NICT), 渡辺知恵美(お茶の水女子大)

——多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集号(和文論文誌 B) 論文募集——

多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集編集委員会

携帯電話や無線 LAN などの無線通信技術の進展, インバータを内蔵した家電製品, 更には, 分散電源装置の普及などに伴って, 日常生活における電磁環境はますます多様化しています。

一方で, 電子デバイスは高速化・低電力化しており, 電子システムの電磁干渉耐力(イミュニティレベル)の確保が, 今後更に困難になると予想されます。こうした状況において, 電子システム間の品質や安全性の確保や情報通信技術の進展に伴う新たな課題への対応などの観点から, EMC(環境電磁工学)の位置付けは今後とも重要になっていくと考えられます。

以上のような現状を踏まえて, 電磁障害対策問題に資する最新の EMC 設計技術, 評価技術, 計測技術, シミュレーション技術に関する論文を募集し, 新たな研究成果を発掘するとともに, 今後重要性が増す EMC 技術の発展を目的として, 本特集号(平成25年4月号)を企画致しました。積極的な御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

EMC 回路基板設計, システムレベル EMC, EMC 対策部品, シールド技術, EMC 計測, 通信・電力システムの EMC, 生体 EMC, 人体通信, 電磁波セキュリティ技術など

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし, 論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。

詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。

- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切: 平成24年7月19日(木) 厳守

最終判定予定: 平成24年12月中旬

発行月: 平成25年4月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合, 「郵送による投稿」を選択し, 一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので, メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除, 電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので, 必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

郵送時, 封筒に「EMC 特集」と朱記して下さい。

FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-b@ieice.org

5. 特集編集委員会

編集委員長 曾根秀昭(東北大)

編集幹事 馬杉正男(立命館大), 王 建青(名工大)

編集委員 石上 忍(NICT), 大西輝夫(NTTドコモ), 岡尚人(三菱電機), 川又 憲(八戸工大), 豊田啓孝(岡山大), 半杭英二(NEC)

6. 問合せ先

馬杉正男 立命館大学理工学部電気電子工学科

〒525-8577 草津市野路東1-1-1

TEL [077] 599-4192 E-mail: masugi@fc.ritsumeai.ac.jp

——集積回路設計技術に関する小特集号

(英文論文誌 C) 論文募集——

集積回路設計技術に関する小特集編集委員会

CMOS デバイスの微細化はとどまるところを知らず, 現在ナノメートル領域に向かって着実に進行し続けています。その結果, VLSI チップの集積度は指数関数的に増大し, 今や1チップに100億個といった脳の神経細胞数にも匹敵する膨大な数のトランジスタが集積可能になってきております。これにより新たなアプリケーションや情報処理の開拓が期待されます。一方で, 漏れ電流やばらつきの問題も顕在化しており, 新たな回路技術や設計技術への要求が高まっています。SoC への SRAM やアナログ回路の搭載は一般化し, 低電圧動作するメモリや CMOS アナログ回路技術も待望されています。このような背景のもと, VLSI の発展に寄与するためには, 新しいアプリケーションやアーキテクチャ, 更に先進の回路・設計技術が重要となります。そこで, 関連の研究成果を発掘することを目的として, 集積回路設計技術に

関する小特集号(平成25年4月号)を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・VLSIアーキテクチャ
- ・三次元チップ
- ・SoC
- ・メモリ回路
- ・デジタル回路
- ・インタフェース回路
- ・アナログ回路
- ・低消費電力技術
- ・設計技術
- ・実装技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー:8ページ, プリーフペーパー:4ページ以内(厳守)とします。詳細はInformation for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で[Special-EC] Solid-State Circuit Design-Architecture, Circuit, Device and Design Methodologyを選択して下さい。[Regular-EC]を選択しないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement)と仮登録確認用紙(Confirmation Sheet of Manuscript Registration)を下記まで郵送, FAX または電子メール添付で送付して下さい。

これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成24年7月23日(月)必着

5. 送付先及び問合せ先

石黒仁揮
慶應義塾大学理工学部電子工学科
〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL [045] 566-1815, FAX [045] 566-1529
E-mail: ishikuro@elec.keio.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 吉本雅彦(神戸大)
幹事 石黒仁揮(慶大)
委員 江川隆輔(東北大), 藤田智弘(立命館大), 濱崎利彦(広島工大), 日置雅和(産総研), 廣瀬達哉(富士通研), 星野洋昭(東芝), 岩崎裕江(NTTエレクトロニクス), 石橋孝一郎(電通大), 菅野雄介(日立), 梶谷一彦(エルピーダメモリ), 加藤武徳(ローム), 川口博(神戸大), 川崎健一(富士通研), 松岡俊匡(阪大), 宮地幸祐(東大), Ramesh Pokharel(九大)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン50名に送付される予定です。

8. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

現代電子情報通信選書《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

進化を続ける医療分野の情報化のすべてがわかる

『医療情報システム』

【監修】黒田知宏(京都大学) ○定価3150円(本体3000円+税)/A5判・222頁

本書は、医療分野で進められているさまざまな電子化・情報化について、システム全般の基礎から応用までをていねいに概説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図などを多く掲載しています。

◎このような方におすすめ

- ・医療情報システムに興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
- ・医療情報関連に携わる方

◆目次◆

病院情報システム/医事会計と病院経営/医療業務とオーダエントリ-記録情報の管理/端末群とネットワーク/物流管理への貢献/医療安全への貢献/部門の情報管理/診療記録の活用/診療画像情報の活用/遠隔医療/医療情報の共有と活用/医療情報の未来



電子情報通信学会 編

発行: オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>